

# 第28回 全道ユース(U-18)フットサル選手権大会 兼第4回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選 開催要項

- 1 主 旨 北海道のフットサル普及・振興のため、高校生年代のフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として本大会を実施する。併せて、第4回全日本ユース(U-18)フットサル大会函館地区予選を兼ねる。
- 2 名 称 第28回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会  
兼第4回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選
- 3 主 催 函館地区サッカー協会
- 4 主 管 函館地区サッカー協会2種委員会
- 5 協 力 校 北海道函館中部高等学校
- 6 期 日 平成28年11月23日(水)
- 7 会 場 函館アリーナ  
函館市湯川町1-32-2 TEL 0138-57-3141
- 8 参加資格 (1) フットサルチームの場合  
① (公財)日本サッカー協会に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。  
② 前項のチームに所属する1999年4月2日以降、2005年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。  
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。  
(2) サッカーの場合  
① (公財)日本サッカー協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。  
② 前項のチームに所属する1999年4月2日以降、2005年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。  
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。  
(3) 地区大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。  
(4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- 9 大会形式 (1) 1グループ3~4チームとして、3グループで予選リーグを行う。  
(2) 昨年度の結果によるシードは基本的に行わない。  
(3) 決勝リーグは、各グループ1位のチームで行い、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。  
(4) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点でのスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。リーグ戦における棄権試合(不正が確認された場合も含む)は0対5とする。  
(5) 予選リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。  
① 当該チーム内の対戦成績  
② 当該チーム内の得失点差  
③ 当該チーム内の総得点数  
④ グループ内での総得失点差  
⑤ グループ内での総得点数  
⑥ 下記に基づくポイント合計が少ないチーム  
(ア) 警告1回1ポイント  
(イ) 警告2回による退場1回3ポイント  
(ウ) 退場1回3ポイント  
(エ) 警告1回に続く退場4ポイント  
⑦ PK方式(人数は少ないチームに合わせてのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

(6) 決勝リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム間の対戦成績
- ② 当該チーム間の得失点差
- ③ 当該チーム間の総得点数
- ④ グループ内での総得失点差
- ⑤ グループ内での総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計が少ないチーム
  - (ア) 警告1回1ポイント
  - (イ) 警告2回による退場1回3ポイント
  - (ウ) 退場1回3ポイント
  - (エ) 警告1回に続く退場4ポイント
- ⑦ PK方式（人数は少ないチームに合わせてのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。）により決定する。ただし、三つ巴が生じた場合、規定の回数で終了したチームを上位とする。

10 競技規則 大会実施年度、（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

11 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) アリーナの大きさによりピッチサイズを決定する。
- (2) 使用球は、フットサル4号ボールとする。
- (3) 競技者の数
  - ・競技者の数：5名
  - ・交代要員の数：7名以内
  - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (4) ベンチに入ることのできる人数は10名以内（交代要員7名、役員3名以内（ただし通訳が試合に登録されている場合は、4名以内とする））とする。
- (5) ユニフォーム
  - フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副の
  - ① ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに携帯すること。
  - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
  - ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインでかつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
  - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
  - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番を付けることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
  - ⑥ ユニフォームの広告掲示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担することとする。
  - ⑦ その他ユニフォームに関する事項については、（公財）日本サッカー協会の規定に則る。
- (6) 靴
  - キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用できない）。
- (7) ビブス
  - 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (8) 試合時間
  - ① 予選リーグ 12分（前後半各5分間）のランニングタイム、ハーフタイムのインターバルは2分間とする。決勝トーナメントは19分（前後半各8分）のランニングタイム、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
  - ② 決勝リーグ 19分（前後半各8分）のランニングタイム、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
- (9) タイムアウトは適用しない。

- 12 懲 罰 (1) 本大会の予選は、懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを、除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、予選リーグ終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。正し、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
- 13 参 加 料 参加料15,000円(消費税込み) 審判不帯同料5,000円(消費税込み)
- 14 参 加 申 込 (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
- (2) 大会参加の有無を平成28年11月4日(金)までに、下記事務局までE-mailまたはFAXで連絡すること。
- (3) 申込締切日 平成28年11月8日(火)正午必着のこと(但し監督会議不参加校のみ)。監督会議に出席する場合は、受付の際に参加料とともに参加申込書(職印を押したものを)を提出すること。
- (4) 参加申込書の位置(ポジション)については、FP、GKの用語を使って記入すること。
- (5) 申込方法 同送の申込フォームに必要事項を記入し、職印を押したものを期日までに郵送または持参すること。また、記入済みのデータを下記事務局までE-mailで送信すること。
- 《申込先》  
〒040-0021 函館市時任町11-3  
北海道函館中部高等学校内フットサル事務局 吉内康二 宛  
TEL 0138-52-0303 FAX 0138-52-0305 E-mail: yoshi315@hokkaido-c.ed.jp
- 15 監 督 会 議 平成28年11月9日(水)16:30 函館中部高校会議室
- 16 組 合 せ 組合せについては、監督会議時に、実施する。なお、当日欠席の学校については函館地区サッカー協会2種委員会フットサル部の担当が代理抽選する。
- 17 閉 会 式 11月23日(水)代表決定戦終了後に行い、優勝、準優勝、第3位には函館地区サッカー協会から表彰状を授与する。
- 18 負 傷 及 び 事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
- 19 そ の 他 (1) 選手証等  
各チームの登録選手は、本協会発行の電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または、選手証(写真が貼付されたもの)を大会本部に持参すること。登録証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。なお、選手証は本大会に申し込まれたチームおよび個人のものであること。電子証(写真貼付)も可とする。
- (2) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。審判については資格保有の各学校顧問が行う。
- (3) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (4) 震災等不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において競技の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) ボールはフットサル用認定球とするが、今大会に限り試合球の持ち寄りはない。
- (6) ネックレス・ピアス・ミサンガ・ヘアバンド等の一切の装飾品、茶髪、金髪、鬘は禁止する。
- (7) 眼鏡の着用は原則として認めない。
- (8) 申込後の選手変更は認めない。
- (9) メンバー提出用紙は1試合前のハーフタイムまでに本部に先発FPに○、先発GKに◎、ベンチ選手に△を記して提出すること。
- (10) 優勝チームには、平成29年1月21日(土)~22日(日)湿原の風アリーナ釧路で開催される第28回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会兼第4回全日本ユース(U-18)フットサル大会北海道予選への参加を義務付ける。

以上